



# 渡来系豪族の始祖祭る

於美阿志神社(明日香村檜前)は高台に鎮座し、近くには、いずれも特別史跡のキトラ古墳や高松塚古墳があります。「飛鳥史跡事典」によると、この地は渡来系の豪族・東漢氏の本拠地で、氏寺として7世紀に建てられた檜隈寺の跡地が境内になっています。



同神社の創建年は不詳ですが、平安時代の「延

## 於美阿志神社 (明日香村)

- (住所) 明日香村檜前五94
- (主祭神) 阿智使主神
- (史跡) 2003年に「檜隈寺跡」として国の史跡に指定

- (交通) 近鉄飛鳥駅から徒歩約20分
- (拝観) 境内自由
- (駐車場) なし
- (電話) なし

喜式神名帳」に式内社と記された古社です。

石灯籠にも多くの神々の銘文が刻まれています。境内は「檜隈寺跡」と

主祭神は東漢氏の始祖で、第15代応神天皇の時代に渡来したとされる阿智使主夫妻。神社名は「阿智」が「阿志」になり、「使主」は「於美」に漢字が変化したうえ、2語が逆遷座しました。境内には、主祭神の他に八坂神社と稲荷神社も祭っており、春秋の祭りと年3回の御湯神事では、村内の飛鳥坐神社の宮司が祝詞を上げており、檜前の氏子に大切に守られています。(奈良まほろばソムリエの会会員 清水雅子)

「続 明日香村史」などによると、江戸時代には御霊明神と呼ばれ、今より西にありましたが、明治時代に現在地に

三重石塔(重要文化財)が残っています。